

令和6年度 第1回下野市地域公共交通会議 会議録

日時	令和6年6月20日（木）午後1時35分～午後3時10分
開催場所	下野市役所2階 203会議室
出席者	長田委員（会長）、真下委員、菊地委員、小林氏（角田委員代理）、鶴見委員、原委員、山川委員、一戸委員、菅井委員、滝田氏（石崎委員代理）、須藤氏（横尾委員代理）、中田委員、荒井氏（塩田委員代理）、小堀氏（保坂委員代理）、荒川委員、井沼委員 16名
欠席委員	佐藤委員、金清委員、小矢島委員、鉢村委員、川中子委員 5名
傍聴者	村尾光子氏、鈴木一司氏 2名

次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議題
 - (1) 地域公共交通確保維持事業に係る認定申請について
 - (2) デマンド交通おでかけ号の運行実績及びアンケート結果報告について
 - (3) 福祉有償旅客運送制度の改正について
 - (4) 下野市地域公共交通計画の改訂について
 - (5) 自動運転バス実証実験の結果について
 - (6) その他
 - ① 「おでかけ号通信」の発行について
 - ② 各種支援制度の改正について
 - ③ その他
4. 閉会

（事務局） ○開会
○新委員紹介・職員自己紹介

（長田会長） ○会長あいさつ
本日は議題が多くあるため、円滑に進めていきたい。
委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきながら会議を進めていきたい。

○議事録署名人選任
名簿No.4番 菊地委員、名簿No.13番 須藤氏（横尾委員代理）

なお、下野市地域公共交通会議条例第6条第2項の規定に基づき、出席者16名で会議成立。

また、下野市審議会等の設置運営要綱の規定に基づき、議事録は発言した委員名も含め、ホームページで公開する。

○議題1【地域公共交通確保維持事業に係る認定申請について
(採決事項)】

- (長田会長) 議題1について、事務局より説明をお願いします。
- (事務局) 地域公共交通確保維持事業に係る認定申請について説明(資料1)。
- (長田会長) 委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。
- (意見なし)
- (長田会長) 議題1について採決を行う。賛成の方は挙手をお願いします。
- ～挙手全員～
- 挙手全員ということで、この内容で国へ提出する。

○議題2【デマンド交通おでかけ号の運行実績
及びアンケート結果報告について】

- (長田会長) 議題2について、事務局より説明をお願いします。
- (事務局) デマンド交通おでかけ号の運行実績(資料2)及び利用向上アンケート結果(資料3)について説明。
- (長田会長) 委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。
- (菅井委員) 利用者数が減っている。特に70歳代の利用者が減少しているが、原因はあるのか。
- 市外の登録者が増えているが、何か理由はあるのか。
- (事務局) 利用者の減少については、予約の電話がつながりにくい、または希望の時間に乗車できないという意見を多くいただくようになり、これまで利用していた方が利用を控えている可能性もあり、一つの要因と考えられる。
- 市外の登録者の増加については、市外登録者が1,274名でそのうち上三川町の方が838名で一番多く、次に壬生町の方が301名となっている。増加している要因としては、1市2町の相互利用により、3市町の登録申請の受付をしていることが考えられる。

(菅井委員) 1市2町の連携は以前から実施しているが、市外登録者の増は、利用促進がうまくいっているということかと思う。

利用者の減少の原因については、もう少し調査分析をすると今後の利用者増にもつながるので、検討してほしい。

(長田会長) 登録者実績は、亡くなった方はクリーニングした結果か。

利用者数は、ヘビーユーザーが亡くなったことで利用者が減少しているということはないのか。

(事務局) 登録者数は、亡くなった方を登録者から除いた人数となっている。

すべての利用データは確認できていないが、たくさん利用していた方が亡くなったというケースもある。

(荒川委員) 移動距離が長い利用者が増えてきており、移動に時間がかかるようになってきた。

運行台数が4台（繁忙時5台）で運行しているが、登録者数から見て適正台数なのか。特に午前中の集中する時間帯は、希望者数が増えている中で現在の車両数では賄えていない状況。

様々な要因があって、満足度が上がらないという結果になっていると考える。

○議題3【福祉有償旅客運送制度の改正について】

(長田会長) 議題3について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 福祉有償旅客運送制度の改正について説明（資料4）。

(長田会長) 委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。

(長田会長) 地域公共交通会議の委員にメンバーが追加されるということか。

(事務局) 予定としては、現在、福祉有償運送事業者1社を委員として追加することを考えている。

○議題4【下野市地域公共交通計画の改訂について】

(長田会長) 議題4について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 下野市地域公共交通計画の改訂について説明（資料5）。

資料の修正をお願いしたい。

令和7年度の予定の中で公共交通会議の開催回数が5回となっているが、3月にも開催を予定しているため、計6回となる。

(長田会長) 委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。

(長田会長) 令和6年度のアンケートや調査等を実施した後は、委託業者は関わらないのか。

- (事務局) 令和6年度中は、業務委託はせず、令和7年度のみ委託をする予定のため、委託業者には調査結果等の共有を図りたい。
- (菅井委員) 計画策定にかかる国の補助金を活用してほしい。
コンサルに委託し調査等を実施する場合は、長田先生にも相談しながら進めてほしい。

○議題5【下自動運転バス実証実験の結果について】

- (長田会長) 議題5について、栃木県交通政策課の滝田氏より説明をお願いします。
- (滝田氏) 下野市の自動運転バス実証実験について説明
- (長田会長) 委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。
- (真下委員) 交差点での事故は右折車と直進車の事故が多い。
特に、直進者がバイクの場合の事故を危惧している。
どのような対策を考えているのか。
- (滝田氏) 道路上にカメラを設置し対向車のスピード等を検知し自動運転バスに送信するという、車両側だけではなく道路上からの情報も連携して支援を行う路車協調の取組があるので、このようなシステムの導入も検討していく。
令和2年度からABCプロジェクトとして県内9カ所で実験を行ったが、1件の事故もなく終えることができた。安全については細心の注意を払いながら実証実験を行った。
- (井沼委員) 雪の日に手動運転とした理由について伺いたい。
- (滝田氏) 一般の営業路線であるため、危険と判断し手動運転とした。
- (井沼委員) 悪天候が見込まれる際は、手動運転になるということは一つの課題であり、今後自動運転導入にあたっては、どうするかを考えていかなければならないと思う。
- (滝田氏) システム的にはある程度の雪であれば自動走行可能とされているが、自動運転技術が発展段階ということもあり、今後、技術の発展によって解決されていくと考えている。
- (事務局) 栃木県のABCプロジェクトとしての実験は昨年度で終了したが、自治医大線における自動運転バスの実装に向けて、引き続き関東自動車や栃木県と協議を重ねているところである。
今年度以降も実証実験を引き続き行い、2027年度の完全無人のレベル4の自動運転バスの運行を目指している。
今年度の実験については、時期などが決まり次第報告する。

○議題 6 【その他】

(長田会長) 議題 6 その他の①「おでかけ号通信の発行」について事務局より説明をお願いします。

(事務局) おでかけ号通信の発行について説明（資料 6）。

(長田会長) 委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。

(真下委員) ベビーカーやシルバーカーを持ち込めるようにしたことは、とても有意義な取り組みと考える。

(長田会長) 次回から、問い合わせ先を記載したほうがよい。

(荒川委員) ベビーカー等を持ち込むにあたり、デマンド車両をセダンからワンボックス車に変更することで対応可能とした。

持ち込める大きさの基準がわかりにくく、線引きが難しい。

原則、荷物等の積み下ろしはご本人が行うこととしているが、手伝ってほしいということも言われるが、対応しきれない。

運行経費については、栃木県平均より低くはなっているが、公費負担の額と受益者負担については、引き続き周知してほしい。

(長田会長) 今年度はいつ頃発行予定か。

(事務局) そろそろ、作成に取り掛かろうと考えている。

(菅井委員) 公費負担については、今後も利用者や市民に定期的にお知らせを続けたほうがよい。

(長田会長) 議題 6 その他の②「各種支援制度の改正」について事務局より説明をお願いします。

(事務局) 各種支援制度の改正について説明（資料 7）。

(長田会長) 委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。

(鶴見委員) 運転免許証自主返納者は増えているのか。

自主返納者支援の内容（金額）は他市町と比較し、どのような状況か。

(事務局) 市への申請件数は、令和 5 年度が 1 4 6 件、令和 4 年度が 1 5 4 件、令和 3 年度が 1 6 1 件となっており、例年ほぼ同様の件数になっている。

(中田委員) 支援の金額については、下野市より少ないところもあるが多いところもあり、県内においては平均的ではないかと考える。

下野市内居住者の運転免許証自主返納件数については、高止まりの状況にある。

また、6 5 歳未満でも病気等を理由に自主返納される方がいるので、年齢要件の撤廃は素晴らしい取り組みである。

支援の金額は、県内の状況からしても安いという金額ではない。

自主返納した証明を提示すると、民間施設等で様々なサポートを受けられる制度があるので、下野市としても情報発信してもらおうと、より自主返納が進むと考える。

(長田会長) 議題6 その他の③「その他」について委員の皆さまからご意見はあるか。

(事務局) 「デマンド交通おでかけ号の運行体制の変更」について説明(資料8)
これまで、石橋タクシーが国分寺タクシーに運行の協力を依頼していたが、令和6年6月からは石橋タクシー1社で運行するというので、石橋タクシーから報告を受けたので、皆様にも報告する。

(長田会長) 委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。
(意見なし)

(事務局) 「今後の下野市の公共交通」について説明(資料9)
令和8年3月で現在の地域公共交通計画が終了することに伴い、令和7年度中に次期計画を策定するため、今年度から基礎資料を作成していく。

デマンド交通と循環バス等のメリット、デメリットを念頭に、市民の移動環境の現状や利用ニーズの調査を行うとともに、導入や運行に係る採算性に配慮する必要がある。

仮に路線型交通を導入する場合は、デマンド交通とすみわけをしなければならない。

研究案として項目を挙げているが、話し合いながら下野市にあった公共交通のあり方を練り上げていきたい。

(長田会長) 委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。

(荒川委員) 下野市の公共交通の実態の具体的なデータがないと検討・判断ができない。

下野市内の公共交通の現状をデータとして出してもらいたい。

(荒井氏) 路線バスの運行事業者として、路線の維持のためにも利用者を増やす必要がある。

会議において路線バスの運行方法についても検討していただき、意見を参考に、よりよいものを運行していきたいので、路線バスについてもぜひご意見をいただきたい。

(鶴見委員) 吉田地区の方から、小金井地区と吉田地区の東西を結ぶ路線バスを検討してほしいという意見を聞いた。

(菅井委員) 朝夕の通勤時間帯は路線バスで、日中はデマンド交通を運行している自治体もある。ある程度まとまった移動の需要があれば、路線バス等も検討の余地はある。

(長田会長) 下野市の公共交通については、これから引き続きの議論となるので、今後の会議において皆様のご意見を聞きたい。

(事務局) 今後とも、委員の皆様や関係機関等と協議を行い、検討を重ねた上で市の方向付けをしていきたい。

今回提案した内容については各組織に持ち帰っていただき、それぞれ検討してほしい。ご意見、ご提案をいただきながら、会議のなかでさらに検討していきたい。

次回会議に向けて、事前にご意見等をいただければ資料として作成する。

(長田委員) 本日の議事は全て終了したので、進行を事務局にお返しする。

(事務局) 以上で本日の会議は終了とする。

○閉会

会議の経過を記載し、その相違がないことを証するためにここに署名する。

会 長

署名委員

署名委員